

令和4年度 第1回社会教育委員会議

日 時：令和4年6月16日（木）
午後1時30分～

場 所：山形市役所 701AB会議室

次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 自己紹介

4 報 告

(1) 令和4年「山形市二十歳の祝賀式」の実施状況について

資料1

(2) 令和3年度の社会教育事業の実施状況について

資料2-1

資料2-2

(3) 令和4年度の社会教育事業の計画について

資料3

5 そ の 他

(1) 第13回山形県社会教育研究大会について

資料4

(2) 山形市子ども会育成連合会の会報について

(3) 令和5年「山形市二十歳の祝賀式」の実施等について

6 閉 会

令和4年度 山形市社会教育委員名簿(五十音順・敬称略)

氏 名	役 職 等
阿部 康子	山形市女性団体連絡協議会 顧問
荒井 拓也	山形市議会議員
板垣 恵一	山形市立みはらしの丘小学校 校長
伊藤 香織	山形市議会議員
牛木 力	東北芸術工科大学 デザイン工学部 コミュニティデザイン学科 専任講師
奥山 竜士	山形青年会議所 監事
加藤 隼人	東北文教大学 人間科学部 子ども教育学科 准教授
渋間 淳一	羽陽学園短期大学附属 鈴川幼稚園 園長
高見 佳澄	山形市PTA連合会 母親委員会 委員長
新関 徳次郎	山形ふれあいマーケット 会長
丹羽 英樹	山形市中学校長会 副会長 山形市立蔵王第一中学校 校長
星野 みち子	山形市食生活改善推進協議会 会長
矢口 友理	山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 准教授
山口 由美	山形市芸術文化協会 会員 (山形市立図書館協議会 委員)(山形児童劇研究会 副幹事長)(えっちゃん文庫 主宰) (山形オペラ協会 副会長)(山形市民会館運営懇話会委員)(エフエム山形番組審議委員)
吉野 利明	山形市元木公民館 館長

【山形市教育委員会】

金沢 智也	教育長
高橋 一実	教育部長
小関 仁美	少年自然の家所長
佐藤 誠	図書館長
後藤 好邦	社会教育青少年課長
青木 秀貴	社会教育青少年課 課長補佐
佐藤 由美子	社会教育青少年課 課長補佐(兼)青少年係長
大木 由紀子	社会教育青少年課 庶務係長
西塔 育枝	社会教育青少年課 社会教育係長
小林 星太	社会教育青少年課 指導主事・社会教育主事
古川 龍	社会教育青少年課 主任
小林 さくら	社会教育青少年課 主任
佐藤 昌宏	社会教育青少年課 協働活動員

令和4年「山形市二十歳の祝賀式」の実施状況について

1 開催日時 令和4年4月30日（土） エリアにより午前・午後の2回に分けて開催

	参加エリア	受付	式典時間
午前の部	北エリア	10:00～	11:00～11:30 (30分)
午後の部	南エリア	13:00～	14:00～14:30 (30分)

※ エリア

	該当中学校（卒業時）
北エリア	第二中、第三中、第四中、第五中、第七中、金井中、高楯中、山寺中、山形養護
南エリア	第一中、第六中、第八中、第九中、第十中、蔵王第一中、蔵王第二中、 山大附属中、山形聾、山大附属特別支援、村山特別支援

2 会場 山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）

3 登録者及び参加者

対象者	参加登録者：1,873名 （うちR3年対象者：8名）	参加者：1,650名 （うちR3年対象者：5名）
祝賀式案内者 2,505名	午前の部：951名（うちR3：3名）	午前の部：832名（うちR3：1名）
※R4.1.11 現在住基人数	午後の部：922名（うちR3：5名）	午後の部：818名（うちR3：4名）

(1) 来賓及び市関係者 28名

(2) 市運営スタッフ 58名

4 二十歳の祝賀式実行委員会

(1) 実行委員 9名

(2) 内訳 ① 社会人 …… 6名（市職員4名、民間企業社員2名）

② 市内大学推薦 …… 3名（学生）

5 運営協力

(1) 手話通訳（山形市身体障がい者福祉協会） 2名

(2) 雑踏警戒 山形警察署 10名

6 二十歳の祝賀式テーマ

only color ～ アナタはどんな花を咲かせますか ～
 <テーマに込める想い>

私たちは、一人ひとり自分だけにしかない個性・色《only color》を持っている。これまで周りの人に支えられながら育ててきた自分の蕾を、二十歳になったこれからは、自分だけの色《only color》に咲かせていこう。

7 ライブ配信

式典に参加できない対象者やご家族の方のため、「山形市公式 YouTube チャンネル」にて配信
 8月末まで閲覧可能

8 式典概要

司 会 二十歳の祝賀式実行委員

- (1) 開式のことば 二十歳の祝賀式実行委員
- (2) 国歌斉唱 ※黙唱
- (3) 山形市民の歌斉唱 ※黙唱
- (4) お祝いのことば 山形市長
- (5) 励ましのことば 山形市議会議長
- (6) 二十歳の決意 二十歳の祝賀式実行委員
- (7) 閉式のことば 二十歳の祝賀式実行委員

9 新型コロナウイルス感染防止対策（対象者：令和4年二十歳の祝賀式参加登録者 1,873名）

(1) 参加者をお願いした事項

- ① ホームページによる参加登録(2/1～4/15)、ワクチン接種又はPCR検査陰性証明の提示
- ② 会場内外でのマスク着用の徹底
- ③ 式典への参加は対象者のみに限定（介助等の特別な配慮が必要な場合を除く）
- ④ 式典開催に係る感染症対策についての資料を案内状に添付して周知

(2) 会場内における感染症対策

- ① 会場入口に検温機（サーモグラフィカメラ）と手指消毒を設置
- ② 南北の扉を全開して換気を徹底
- ③ 間隔を空けて座席を配置し、ステージと座席も1～2m以上離して配置
- ④ 午前の部と午後の部の間に、会場内の椅子を消毒
- ⑤ 受付にパーテーションを設置し、運営スタッフはマスク、フェイスガードを着用
- ⑥ 会食の際の感染対策の徹底、注意喚起（アナウンス）

(3) その他

新型コロナウイルスワクチン未接種者（2回未満接種者）に対しPCR検査キットを送付
・送付人数：153名

10 次期開催に係るアンケート実施結果

（対象者：令和4年二十歳の祝賀式登録者 1,650名）

(1) 式典の開催時期について

項目	回答件数	割合 (%)
【4月】春の大型連休に合わせた時期	91	54.8
【1月】成人の日に合わせた時期	74	44.6
その他の期間	1	0.6

(2) 式典の開催場所について

項目	回答件数	割合 (%)
山形ビッグウイング	85	51.2
山形市総合スポーツセンター	76	45.8
上記以外の場所	5	3.0

(3) パンフレットの形式について

項目	回答件数	割合 (%)
紙（現行どおり）	90	54.2
Webデータ	49	29.5
パンフレットは不要	27	16.3

令和 3 年度社会教育事業の実施状況について

1 公民館の事業

(1) 公民館設置数 8 館

(2) 公民館における社会教育事業について

社会の変化にあわせて、「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学習機会を提供するために、行政各機関、社会教育関係団体、NPO 法人、大学等との連携・協力関係を構築し、全市民を対象に社会的要請学習を展開した。ボランティア団体、大学等の高等教育機関との連携・協力関係を構築し、全市民を対象に社会的要請学習を展開した。

また、公民館が立地する地域との日常的な関わりを重視し、「ふれあい交流」、「地域と共に考えるまちづくり」をテーマに、それぞれの地域の課題や実情を踏まえ、地域との協力のもと、独自の企画・運営による地域づくり学習を各公民館において展開した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止した事業があった。

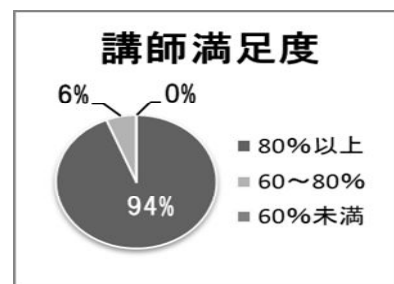
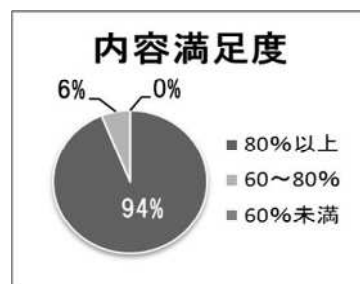
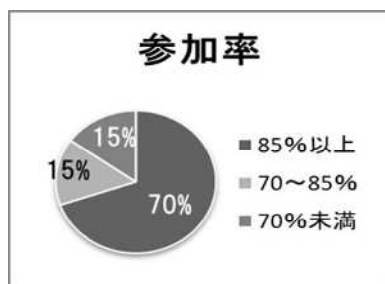
(3) 公民館事業の実施状況

①-1 社会的要請学習 事業実績

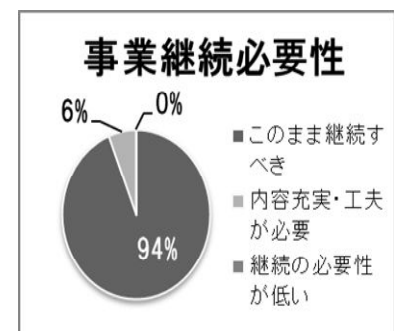
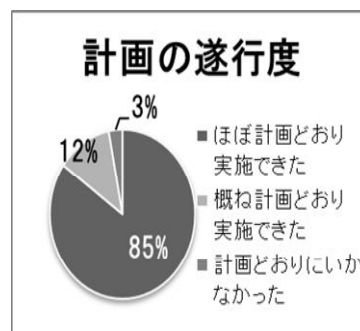
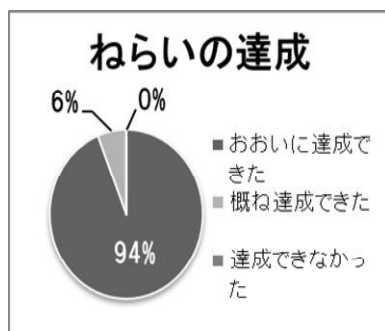
学習テーマ	担当	事業数 (事業)	講座数 (講座)	延べ参加者数 (人)
ICT 役立つ ICT 活用術	中央	3	46	438
ライフデザイン 自分らしく今を楽しむ生活術	中央 霞城	4	4	60
環境・エネルギー 行って見て聴いて実践エコライフ	東部 西部	4	4	47
健康づくり わたしと家族の健康生活	南部 元木	5	5	113
防災・防犯 防災・防犯テクニック術	北部 江南	5	5	69
若者支援 リア塾	社会教育青少年課 全公民館	1	6	64
子ども支援 体験子ども教室	社会教育青少年課 全公民館	11	25	599
合計		33	95	1,390

①-2 社会的要請学習 事業評価

◆ 客観的評価 (参加者アンケート)



◆ 個別評価 (担当職員所見)

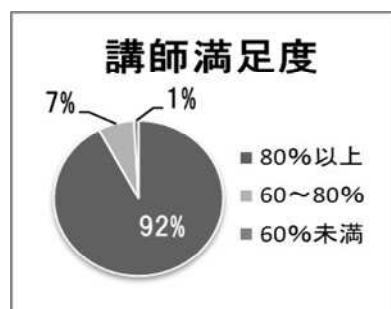
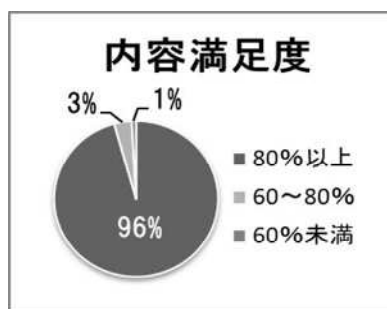
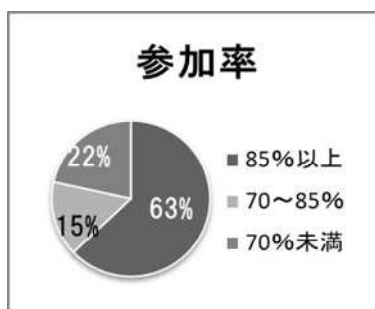


②-1 地域づくり学習 事業実績

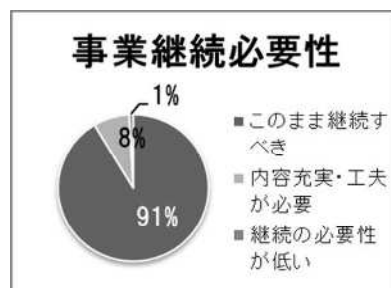
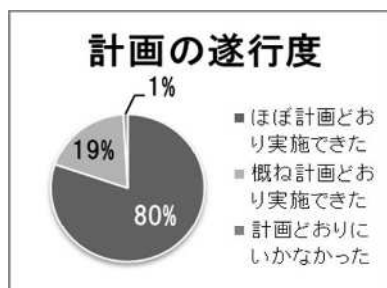
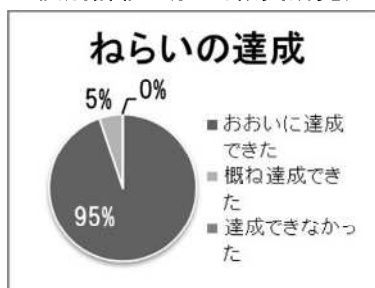
公民館		地域住民のふれあい交流の促進					地域と共に考 えるまちづくり	中央 ホール等	合計
		子育て支援	子ども育成	若者支援	高齢者支援	その他			
中央	事業数	0	3	1	3	1	2	4	14
	講座数	0	4	1	4	1	29	6	45
	参加者数	0	56	11	83	17	754	1,133	2,054
東部	事業数	1	2	1	1	2	1	-	8
	講座数	1	6	1	2	6	17	-	33
	参加者数	20	51	8	23	585	151	-	838
西部	事業数	0	1	1	3	8	2	-	15
	講座数	0	3	1	5	25	35	-	69
	参加者数	0	85	3	125	476	503	-	1,192
南部	事業数	1	2	1	2	7	2	-	15
	講座数	1	5	1	5	13	2	-	27
	参加者数	19	78	8	142	242	63	-	552
北部	事業数	1	2	1	4	4	2	-	14
	講座数	2	6	1	7	4	5	-	25
	参加者数	54	139	17	82	213	223	-	728
江南	事業数	1	2	1	0	3	2	-	9
	講座数	1	5	2	0	7	33	-	48
	参加者数	13	110	27	0	139	452	-	741
霞城	事業数	1	2	0	4	5	0	-	12
	講座数	2	6	0	5	8	0	-	21
	参加者数	26	137	0	50	535	0	-	748
元木	事業数	2	8	1	3	14	1	-	29
	講座数	3	10	1	3	52	1	-	70
	参加者数	32	228	11	33	535	68	-	907
合計	事業数	7	22	7	20	44	12	4	116
	講座数	10	45	8	31	116	122	6	338
	参加者数	164	884	85	538	2,742	2,214	1,133	7,760

②-2 地域づくり学習 事業評価

◆ 客観的評価（参加者アンケート）



◆ 個別評価（担当職員所見）



③ 対象別事業実績

区 分	地域づくり学習						社会的要請学習			合 計		
	主 催 事 業			共 催 事 業			事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)
	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)	事業数 (事業)	講座数 (回)	参加者数 (人)						
少 年	14	35	535	2	3	200	8	22	585	24	60	1,320
青 年	7	8	85	0	0	0	1	6	64	8	14	149
成 人	36	48	687	9	18	563	17	37	483	62	103	1,733
高 齢 者	5	40	408	11	129	2,100	1	24	204	17	193	2,172
親 子	10	12	180	3	5	133	6	6	54	19	23	367
そ の 他	12	30	1,462	7	10	1,407	0	0	0	19	40	2,869
合 計	84	173	3,357	32	165	4,403	33	95	1,390	149	433	9,150

(4) 公民館利用者数の推移 単位 (人)

利用種別	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
公民館事業参加者	34,503	35,443	35,517	5,757	9,150
貸館利用者	337,599	319,690	314,592	140,773	144,424
合 計	372,102	355,133	350,109	146,530	153,574

2 社会教育青少年課の事業

(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入と地域学校協働活動の実施状況について 資料2-2のとおり

(2) 放課後子ども教室推進事業

「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後や土曜日に小学校の余裕教室などを活用し、子どもの安全・安心な活動場所を提供するとともに、学習活動や集団での遊びのほか、価値ある体験活動や豊かなかかわりあいを通じて、子どもの自主性を培い社会性を育むことを目的に、平成19年度からモデル校として第一小学校と東小学校、平成20年度から大曾根小学校で放課後子ども教室を実施している。

令和3年度は新たな取り組みとして、全市小学生を対象とした「土曜体験版」放課後子ども教室を開催し、学習や遊び、様々な体験活動を中央公民館で実施した。

《令和3年度 事業実績》

実施場所	開催曜日	登録児童数(人)	開催日数(日)	延べ参加者数(人)
大曾根小学校	月～木	25	133	2,139
【土曜体験版】 中央公民館	土曜日・冬季 休業中の月曜日	21	4	69
合 計	—	46	137	2,208

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校との協議により、第一小学校及び東小学校では令和3年度の開催を見送った。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入と 地域学校協働活動の実施状況について

1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）導入状況

(1) 令和2年度 **(3校)** H30～R1 研究委嘱校に正式に設置

九小、西山形小、蔵王一中

(2) 令和3年度 **(32校)** 学校評議員制度導入校を中心に移行

大曾根小、五小、村木沢小、東沢小、南山形小、蔵王三小・二中、桜田小、みはらしの丘小、三小、山寺小・中、東小、八小、高瀬小、二小、鈴川小、六中、一小、明治小、金井小、一中、六小、二中、大郷小、蔵王二小、四小、九中、楯山小、南小、十中、宮浦小

(3) 令和4年度 **(16校)**

七小、十小、西小、千歳小、出羽小、南沼原小、蔵王一小、本沢小、三中、七中、金井中
令和3年度より変更：滝山小、四中、五中、八中、高楯中

2 地域学校協働活動の状況について

(1) 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

令和4年3月1日までに委嘱した学校 **(20校・18名)**

大曾根小、五小、蔵王三小・二中、南山形小、九小、山寺小・中、みはらしの丘小、西山形小、高瀬小、二小、桜田小、村木沢小、東小、一小、明治小、金井小、四小、金井中

(2) 具体的な地域学校協働活動事例

【平成30年度～令和2年度】

学校運営協議会のモデル校3校において、地域学習やボランティア活動等を実施。

九小 …見守り活動の充実や夏祭り・秋祭りの活性化を実施。

西山形小…コーディネーターが授業のゲストティーチャーとして地域人材を紹介。

蔵王一中…地域におけるボランティア活動として、公民館駐車場の整備活動を実施。

【令和3年度】

本年度から委嘱された地協推進員18名の活動の抜粋。

大曾根小…読み聞かせボランティアの連絡調整。クラブ活動、総合学習の連絡や全体調整。

五小 …総合学習「花笠」学習における山形大学サークルとの連絡調整。

蔵王三小・二中…校外学習「蔵王野草学習」、学校スキー大会運営、スキーツアー全体調整。

南山形小…総合学習の地域・学校ジオラマの制作、完成披露会開催時の連絡調整。

九小 …生活科「町たんけん」受入れ事業所訪問と交渉。見守り隊連絡文書作成。

みはらしの丘小…地域回覧資料の作成。学校との相談、先生方へのアンケート作成と集約。

山寺小・中…紅花学習、すり染体験やコサージュ作りの全体調整。

西山形小…生活科、総合の授業コーディネートや講師依頼。社会科フィールドワーク計画。

高瀬小 …社会科、総合のコーディネート。通学路の除草作業計画と運営。教職員への地域紹介。

二小 …授業支援を募るための授業参観。登下校見守り隊打ち合わせ。

桜田小 …学校会計事務・ICT 支援。学生ボランティア計画。
村木沢小…子ども育成会連絡調整、資源回収作業の見守り。地区教育懇談会での意見交換。
東小 …地域の協力者アンケート作成。民生委員児童員との情報交換。通学路安全確認。
一小 …生活科授業企画打合せ。CS 説明資料作成。第一地区地図作成の情報収集と作成作業。
明治小 …今後の活動準備。(以下の方は最近委嘱されコロナの活動制限もあったため)
金井小 …今後の活動準備。地協推進員等の研修。
四小 …今後の活動準備。
金井中 …職場体験学習の打合せ。

(3) その他

- ①社会教育青少年課で、地協ニュース「ときたまご」を発刊し、各学校運営協議会の様子や、各学校における地域学校協働活動などを取材し、情報発信と状況共有を図っている。
- ②やまがた市政の目で「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～」として高瀬小学校の取組を中心に紹介。

No.	学 校 名	学校運営協議会					地協推進員		
		R2年度設置	R3年度設置	R4年度設置予定	設置年月日	一般委員数	教員委員数	委嘱済	委嘱日
1	第一小		○		R3.10.1	7	1	○	R3.11.17
2	第二小		○		R3.7.1	9	1	○	R3.7.1
3	第三小		○		R3.7.1	5	0		
4	第四小		○		R4.2.1	10	0	○	R4.2.1
5	第五小		○		R3.4.1	9	1	○	R3.4.15
6	第六小		○		R4.1.1	7	1		
7	第七小			○					
8	第八小		○		R3.4.1	5	1		
9	第九小	○			R2.4.1	9	1	○	R3.5.21
10	第十小			○					
11	南小		○		R4.2.1	10	0		
12	西小			○					
13	東小		○		R3.6.1	8	2	○	R3.11.16
14	鈴川小		○		R3.9.1	10	0		
15	千歳小			○					
16	金井小		○		R3.12.1	7	1	○	R3.12.1
17	大郷小		○		R4.1.1	10	0		
18	明治小		○		R4.1.1	10	0	○	R4.1.1
19	出羽小			○					
20	楯山小		○		R4.2.1	10	0		
21	高瀬小		○		R3.8.1	9	1	○	R3.8.1
22	山寺小		○		R3.7.1	10	5	○	R3.5.27
23	東沢小		○		R3.5.1	10	0		
24	滝山小			○	2022/6/1予定				
25	桜田小		○		R3.5.1	9	1	○	R3.10.1
26	南沼原小			○					
27	宮浦小		○		R4.3.1	7	0		
28	蔵王第一小			○					
29	蔵王第二小		○		R4.2.1	7	0		
30	蔵王第三小		○		R3.4.1	15	3	○	R3.4.19
31	南山形小		○		R3.4.1	9	1	○	R3.6.1
32	みはらしの丘小		○		R3.7.1	8	1	○	R3.7.1
33	本沢小			○					
34	西山形小	○			R2.4.1	9	1	○	R3.6.1
35	村木沢小		○		R3.4.1	5	1	○	R3.11.1
36	大菅根小		○		R3.4.1	7	0	○	R3.4.12
1	第一中		○		R4.2.1	11	0		
2	第二中		○		R4.2.1	6	0		
3	第三中			○					
4	第四中			○	2022/6/1予定				
5	第五中			○	2022/5/1予定				
6	第六中		○		R3.9.1	11	0		
7	第七中			○					
8	第八中			○	2022/4/1予定				
9	第九中		○		R4.2.1	13	0		
10	第十中		○		R4.3.1	3	1		
11	金井中			○				○	R4.2.1
12	高楯中			○	2022/4/1予定				
13	山寺中		○		R3.7.1	山寺小と一緒に			R3.5.27
14	蔵王第一中	○			R2.4.1	12	0		
15	蔵王第二中		○		R3.4.1	蔵王三小と一緒に			R3.4.19
合計		3	32	16	51	287	24	18	

* 山寺小・中学校、蔵王三小・二中は小中併設校で、それぞれ2校で1つの協議会とした

* ○ はR3年度からR4年度への変更

令和 4 年度の社会教育事業の計画について

1 公民館事業

令和 4 年社会教育の方針に基づき、「社会的要請学習」及び「地域づくり学習」の二つを柱として、社会教育事業を展開する。

なお、今年度は、下記について特に重点的に取り組み、社会教育の推進を図っていく。

(1) 全公民館において社会的要請事業として「ICT事業」を必須化【拡充】

令和 3 年度まではパソコン室のある中央公民館が中心となり実施していた ICT 事業について、市民のデジタル化社会への対応を支援するため、社会的要請の学習テーマ「ICT」事業を全公民館必須として事業を実施する。

(2) 明治安田生命保険相互会社の「地元の『公民館』元気プロジェクト」の活用【新規】

(公社) 全国公民館連合会と明治安田生命相互保険会社が共同で推進する「地元の『公民館』元気プロジェクト」を活用し、明治安田生命相互保険会社山形支社の各営業所と共催し、「健康増進」や「介護・認知症」等、地域のニーズを踏まえた『MY 定期講座』を各公民館事業に取り入れ実施していく。

(3) 高校生等のボランティア活動機会の創出と支援【拡充】

現在、山形大学（子ども支援事業「ビッキの会」）、山形県立山形北高等学校（子ども支援事業「学習会」）に限られている青少年ボランティア事業について、市内高校に働きかけを行い、高校生がボランティア活動として公民館事業に参加する機会を創出する。

この取り組みにより、世代間交流、若者の公民館事業への参画、地域づくりを担う人材の育成を図っていく。

(4) 市が推進する施策との連携強化【継続】

各講座の実施に当たっては、昨年度に引き続き関係課と連携を図りながら、市の推進する施策について講座に取り入れたり、市民に理解を深めていただけるような学習機会を提供する。

- (例) 健康増進課の「山形市健康ポイント事業 SKUSK 」との連携
長寿支援課の「加齢性難聴の早期発見・早期対応事業」との連携
情報企画課の「デジタル活用支援事業」との連携

【令和4年度 社会的要請学習 年間事業計画集計表】

学習テーマ	担当公民館	事業数	講座数
ICT 役立つICT活用術	全公民館	11	73
ライフデザイン 自分らしく今を楽しむ生活術	中央 西部	4	7
環境・エネルギー 行って見て聴いて実践エコライフ	東部 元木	6	6
健康づくり わたしと家族の健康生活	南部 江南	5	6
防災・防犯 防災・防犯テクニック術	北部 霞城	5	7
若者支援事業 リア塾	社会教育青少年課 全公民館	1	8
子ども支援 体験子ども教室	社会教育青少年課 全公民館	11	29
合 計		43	136
令和3年度 実績		33	95
前年度比		+10	+41

【令和4年度 地域づくり学習 年間事業計画集計表】

公民館		地域住民のふれあい交流の促進					地域と共に考 えるまちづくり	中央 ホール等	合計
		子育て支援	子ども育成	若者支援	まごのつばね	その他			
中央	事業数	1	4	1	4	6	4	6	26
	講座数	2	6	1	5	7	30	9	60
東部	事業数	1	3	1	2	5	2	-	14
	講座数	1	7	1	4	12	22	-	47
西部	事業数	2	2	1	3	8	3	-	19
	講座数	7	8	2	6	11	51	-	85
南部	事業数	1	2	1	2	8	2	-	16
	講座数	1	6	1	4	31	5	-	48
北部	事業数	1	2	1	4	6	4	-	18
	講座数	2	10	1	7	8	7	-	35
江南	事業数	2	2	1	1	7	3	-	16
	講座数	3	9	3	1	17	54	-	87
霞城	事業数	1	3	1	5	12	1	-	23
	講座数	1	13	1	7	16	1	-	39
元木	事業数	2	4	2	3	10	1	-	21
	講座数	2	6	2	3	61	1	-	74
合計	事業数	11	22	8	24	62	20	6	153
	講座数	19	65	11	37	163	171	9	475
R3 実績	事業数	7	22	7	20	44	12	4	116
	講座数	10	45	8	31	116	122	6	338
前年 度比	事業数	+4	0	+1	+4	+18	+8	+2	+37
	講座数	+9	+20	+3	+6	+47	+49	+3	+137

2 地域・学校との連携・協働

(1) 地域学校協働活動事業（予算額：2,519千円）

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を推進する。

令和3年度より、学校運営協議会を設置した学校に、地域住民と学校との連絡調整等を行うコーディネーターである「地域学校協働活動推進員」を配置している。「地域学校協働活動推進員」は原則学校運営協議会の推薦により、教育委員会が委嘱している。各小中学校では、学校や地域のよさや特色を生かした地域学校協働活動を実施している。

学校では学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなって「地域とともにある学校づくり」を推進している。国が進める「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」は「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現するために有効であるとされている。

(2) 放課後子ども教室推進事業（予算額：5,392千円）

放課後子ども教室とは、放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等支援活動である。

令和3年度は第一小学校、東小学校、大曾根小学校で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため第一小学校と東小学校では実施なし、大曾根小学校では対象を1～3年生に限定して開催した。また、「土曜体験版放課後子ども教室」を開催し、市内全小中学校児童を対象にした放課後子ども教室を実施した。

令和4年度は4月25日より開始し、年間165日の開催を予定している。第一小学校、東小学校での開催は未定。土曜体験版は開催の方向で検討している。

【令和3年度 放課後子ども教室 実施状況】

実施小学校	開催曜日	登録児童数
第一小学校		
東小学校		
大曾根小学校	133日（平日の授業日のうち月～木）	25人
土曜体験版	4日（土曜日と冬季休業中の月曜日）	21人
合計	137日	25人

(3) 公民館における学校との連携協働事業

地域等の学校のニーズを把握し、連携協働した事業を実施する。実施にあたっては地域の人材を積極的に活用し、地域の教育力の向上を図る。

3 令和5年 二十歳の祝賀式（予算額：4,789千円）

現在、開催時期を含めて検討を進めている。

式典の企画運営については、二十歳の方々による「二十歳の祝賀式実行委員会」を組織し、二十歳の方々が主体的に参加できる祝賀式を開催する。

この開催要項（案）は、令和4年5月26日に送付された山形県社会教育連絡協議会総会（書面開催）において提案された資料です。7月頃に正式な開催方法等が決定されるとのことです。その際には改めてご案内申し上げます。

第13回山形県社会教育研究大会(兼)令和4年度置賜社会教育振興大会 開催要項（集合半日案）

- 1 趣 旨 県内各地の社会教育関係者が、日頃の社会教育活動の実践や研究成果を学び合うことにより、生涯学習社会の実現に向けた社会教育のあり方を探るとともに、社会教育推進の重要な拠点である公民館活動等の充実を図り、県内の社会教育・公民館活動の一層の振興・発展を目指す。
- 2 研究主題 『地域の特色を活かし未来を拓く社会教育のあり方』
～いのち、学び、地域をつなぐ社会教育～
- 3 主 催 山形県社会教育連絡協議会
- 4 共 催 山形県教育委員会
米沢市教育委員会 長井市教育委員会 南陽市教育委員会 高島町教育委員会
川西町教育委員会 小国町教育委員会 白鷹町教育委員会 飯豊町教育委員会
- 5 後 援 米沢市 長井市 南陽市 高島町 川西町 小国町 白鷹町 飯豊町
公益財団法人山形県生涯学習文化財団 山形県連合小学校長会
山形県中学校長会 山形県高等学校長会 山形県特別支援学校長会
山形新聞・山形放送 山形テレビ テレビユー山形 さくらんぼテレビ
NHK山形放送局 朝日新聞山形総局 毎日新聞山形支局 読売新聞山形支局
- 6 主 管 第13回山形県社会教育研究大会(兼)令和4年度置賜社会教育振興大会実行委員会
- 7 期 日 令和4年10月21日（金）
- 8 場 所 長井市民文化会館
タスパークホテル
- 9 対 象 社会教育委員 公民館運営審議会委員 教育委員 教育行政関係者
公民館・コミュニティセンター等社会教育施設職員 学校教育関係者
社会教育関係団体・NPO法人等関係者 福祉行政関係者
まちづくり行政関係者 生涯学習関係者実践者 計 約500名

10 日 程

12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	16:00
受付 (長井市民文化会館)	表 開 会 行 事 彰	伝 統 芸 能 発 表	移 休 動 憩	分 科 会	
30	30	30	30	90	

- ※ 新型コロナウイルス感染症対策のため縮小した日程・内容での開催になります。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によりオンラインでの開催になります。その際は改めてご連絡させていただきます。
- ※ 当日は、検温や手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

11 内 容

- (1) 開会行事・表彰
- (2) 伝統芸能 「ながい黒獅子舞い」
- (3) 分科会

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
テーマ	現代的課題等への対応	学習機会・学習環境の充実	関係機関等との連携・協働	次世代の人材育成
視 点	現代的な課題や地域課題の解決に向けてどう取り組むか。	学習者にとって魅力的な学習プログラムの企画・運営や学習環境の充実をどう図るか。	各種団体、関係機関等との連携・協働をどう進めていくか。	社会の変化に対応し、社会教育事業を継承するための人材をどう育成していくか。
会 場	長井市民文化会館	長井市民文化会館	タスパークホテル	タスパークホテル
話 題 提供者	村山地区 村山市 ブルガリア新体操ゴールデンガールズファンクラブの取組み	置賜地区 米沢市 万世コミュニティセンターの取組み	村山地区 山形市 山形市におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の取組み	最上地区 新庄市 地域開発チームWAT Sの取組み
	置賜地区 長井市 ながい黒獅子まつりの取組み	庄内地区 酒田市 大沢コミュニティ振興会の取組み	最上地区 鮭川村 鮭川村地域学校協働活動の取組み	庄内地区 鶴岡市 高校生ボランティア「かだんこの会」の活動について
助言者	山形大学地域教育文化学部 教授 安藤 耕己 氏	東北大学大学院 教育学研究科 准教授 松本 大 氏	一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏	福島大学うつくしま ふくしま未来支援センター 特任教授 天野 和彦 氏

12 参加費（資料代等） 1, 0 0 0 円

13 参加申込

- (1) 参加申込の手順
 - ①当該市町村教育委員会社会教育主管課への参加申込締切 令和4年 8月26日（金）
 - ②各市町村教育委員会から各教育事務所への参加者報告締切 令和4年 9月 2日（金）
 - ③各教育事務所から大会事務局への参加者報告締切 令和4年 9月 9日（金）
- (2) 参加申込の様式 ※別紙様式
- (3) 参加費振り込み
 - ①参加費は、参加申込と同時に下記口座に振り込んでください。

山形銀行 長井支店 店番号228 口座番号〇〇〇〇〇〇〇〇
第13回山形県社会教育研究大会 実行委員長 宇山 栄一

- ②参加申込の取り消しがある場合は、大会事務局までFAX・郵送・メールのいずれかで連絡をお願いします。なお、下記の期限を過ぎた場合は対応できませんので、ご了承ください。
参加の取り消し：9月21日（水）
- (4) 申し込み上の留意点
 - ①参加分科会の決定については、第1希望を優先しますが、会場の定員の都合上、第2希望に回っていただく場合がありますので、ご了承ください。
 - ②駐車券の配付は予定しておりませんが、駐車台数を把握するため、参加申込書の交通手段の欄に、マイクロバス・自家用車等の記入を必ずお願いします。

14 大会事務局 〒993-0085 長井市高野町二丁目3-1 置賜教育事務所社会教育課内
第13回山形県社会教育研究大会事務局 担当：主任社会教育主事 吉田 正博
TEL:0238-88-8241 / FAX:0238-88-5700 / メール:yoshidamasahir@pref.yamagata.jp